

### Ⅲ 障がい保健福祉課（重症心身障がい児・者及び医療的ケア児・者支援に関する事業）

#### 1 令和3年度の事業

医療的ケア児等の短期入所での受入促進や支援者の人材育成研修等を実施した。

	事業名	概要
通常分	①重症心身障がい児等支援者育成事業 【継続】 (予算額：9,699 千円)	重症心身障がい・発達障がいのいずれにおいても、相談員や看護師等の支援者が不足していることから、看護師向け、相談員向けの研修のほか、研修受講修了者を対象としたフォローアップ研修を実施し、支援者の育成を行う。
	②医療的ケア児等支援者育成事業 【継続】 (予算額：1,247 千円)	医療的ケア児支援に携わる看護師や喀痰吸引等研修を修了した介護職員を対象に、たん吸引や経管栄養等の医療的ケアに係るスキル向上のための研修を行う。
	③医療的ケア児等コーディネーター養成事業【継続】 (予算額：1,756 千円)	重症心身障がい児を含む医療的ケア児に対する、保健、医療、福祉その他の各関連分野の支援機関との連絡調整を行う医療的ケア児等コーディネーターの養成研修を行う。
	④在宅超重症児（者）等短期入所機器整備費補助 (予算額：0 千円) ※補助事業の導入希望なし	在宅生活を送る超重症児・者等を受け入れる短期入所事業所に対し、受入に必要な機器の購入費を補助する。
	④障がい児者医療学寄附講座設置事業 【継続】 (予算額：33,000 千円)	岩手医科大学医学部に県の寄附講座として、障がい児者医療学講座を設置し、県立療育センター医師をはじめとした障がい児者医療に携わる医師を確保・育成するとともに、地域における障がい児者医療に関する研究や普及啓発活動を行い、県内障がい児者医療の水準の向上及び障がい児者又はその家族が安心して生活できる環境を整備する。
新型コロナ分	①医療的ケア児等短期入所事業所受入事業 【一部継続】 (予算額：728 千円)	濃厚接触者となった医療的ケア児等を受け入れる短期入所事業所に対する経済的な支援を行うため、短期入所事業所に対し、受入日数に応じて協力金を支給する。
	②医療的ケア児等緊急時搬送支援事業 【新規】 (予算額：150 千円)	医療的ケア児等の介護者等が、新型コロナウイルス感染症に感染し、医療的ケア児等の受入先である短期入所事業所等に搬送することが困難な場合に搬送支援体制を確保するため、医療的ケア児等の介護者が患者搬送事業者に対し搬送業務を依頼した場合における費用を補助する。
	③医療的ケア児等オンライン面会体制支援事業 【新規】 (予算額：353 千円)	医療的ケア児等の介護者等が、新型コロナウイルス感染症に感染し、医療的ケア児が指定短期入所事業所に入所した場合に、医療的ケア児が入院中の保護者とオンラインで面会できるように、事業所が電子端末や通信環境を整備した場合の経費を補助する。

※予算額は2月補正後現計

## 2 令和4年度の事業

令和4年度当初予算案において、短期入所の受入促進、支援者の人材育成研修の継続のほか、医療的ケア児支援センターの設置・運営に係る経費を計上している。

	事業名	概要
通常分	①重症心身障がい児等支援者育成事業 【継続】 (予算額：10,577千円)	重症心身障がい・発達障がいのいずれにおいても、相談員や看護師等の支援者が不足していることから、看護師向け、相談員向けの研修のほか、研修受講修了者を対象としたフォローアップ研修を実施し、支援者の育成を行う。
	②医療的ケア児等支援者育成事業 【継続】 (予算額：1,373千円)	医療的ケア児支援に携わる看護師や喀痰吸引等研修を修了した介護職員を対象に、たん吸引や経管栄養等の医療的ケアに係るスキル向上のための研修を行う。
	③医療的ケア児等コーディネーター養成事業【継続】 (予算額：1,932千円)	重症心身障がい児を含む医療的ケア児に対する、保健、医療、福祉その他の各関連分野の支援機関との連絡調整を行う医療的ケア児等コーディネーターの養成研修を行う。
	④在宅超重症児（者）等短期入所機器整備費補助【継続】 (予算額：3,500千円)	在宅生活を送る超重症児・者等を受け入れる短期入所事業所に対し、受入に必要な機器の購入費を補助する。
	⑤医療的ケア児支援センター管理運営費【新規】 (予算額：14,749千円)	医療的ケア児支援法に基づく「医療的ケア児支援センター」を設置し、関係機関・団体等と連携しながら医療的ケア児とその家族に対する相談支援等を行う。
	⑥障がい児者医療学寄附講座設置事業 【継続】 (予算額：33,000千円)	岩手医科大学医学部に県の寄附講座として、障がい児者医療学講座を設置し、県立療育センター医師をはじめとした障がい児者医療に携わる医師を確保・育成するとともに、地域における障がい児者医療に関する研究や普及啓発活動を行い、県内障がい児者医療の水準の向上及び障がい児者又はその家族が安心して生活できる環境を整備する。
新型コロナ分	①医療的ケア児等短期入所事業所受入事業【継続】 (予算額：8,736千円)	濃厚接触者となった医療的ケア児等を受け入れる短期入所事業所に対する経済的な支援を行うため、短期入所事業所に対し、受入日数に応じて協力金を支給する。
	②医療的ケア児等緊急時搬送支援事業【継続】 (予算額：1,800千円)	医療的ケア児等の介護者等が、新型コロナウイルス感染症に感染し、医療的ケア児等の受入先である短期入所事業所等に搬送することが困難な場合に搬送支援体制を確保するため、医療的ケア児等の介護者が患者搬送事業者に対し搬送業務を依頼した場合における費用を補助する。

※予算額は令和4年度当初予算案（令和4年2月15日時点）

### 3 医療的ケア児支援センターについて

令和3年9月18日施行の医療的ケア児及びその家族に対する支援に関する法律（以下「医療的ケア児支援法」という。）に基づき、都道府県において設置することができるとされた「医療的ケア児支援センター」の設置・運営を行うための予算を令和4年度当初予算案に計上している。

#### ○ センターの役割

- ・ 医療的ケア児及びその家族への相談対応、支援に係る関係機関との連絡調整
  - ➡ 専属の相談窓口を設置し、対応のワンストップ化を図る
- ・ 医療的ケア児に関する情報収集、医療・福祉・教育・労働などへの情報提供
  - ➡ 関係機関での情報共有（※）を図り、ライフステージに応じた支援を図る
- ※ 情報共有を図るためのクラウドシステムを導入予定
- ・ 医療的ケア児の支援者や県民、関係機関に対する研修の実施
  - ➡ 人材の養成や、普及啓発を図る
- ・ 家族会と連携したニーズ把握、家族間での交流機会の提供
  - ➡ 必要な支援を把握し、より良い支援の構築を図る

#### ○ 医療的ケア児支援センターの想定スキーム

センターの各機能を関係機関等が分担して役割を担う方向で検討中（面的整備）

